

地元企業の景況 第97号

郡上市八幡町新町961番地
八幡信用金庫
総務部
TEL(0575)65-3407
FAX(0575)65-3914

<業況判断>

今期業況改善、来期は小幅な悪化見通し

I 今期 (2019年4~6月期)

1. 今期の業況判断D.I.は▲16.7と前期(2019年1~3月期)▲25.0に比べ8.3ポイント改善。
2. 業種別では飲食業、農業、建設業、サービス業で改善、小売業、製造業で横ばいも、不動産業、卸売業で悪化となった。

II 来期 (2019年7~9月期)

1. 来期の業況判断D.I.は▲18.6と今期▲16.7に比べ▲1.9ポイントの小幅な悪化予想。
2. 業種別では小売業で改善、サービス業、卸売業、飲食業、不動産業、製造業で横ばいも、農業、建設業で悪化予想。

業況判断図(業種ごとの業況を表情図で示しました。)

時期 業種	前期 2019年 1月~3月	今期 2019年 4月~6月	来期 2019年 7月~9月
製造業			
卸売業			
小売業			
飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			
農業			
全業種			

DI<▲30	▲30≤DI<▲15	▲15≤DI<0	0≤DI<15	15≤DI<30	30≤DI

調査概要

- 調査目的 郡上市・下呂市・高山市・大野郡白川村の当金庫取引先の景気動向
- 調査対象 当金庫取引先 230先
(郡上市204社 下呂市14社 高山市・大野郡白川村12社)
- 調査時期 2019年4月1日~6月30日
- 調査時点 2019年6月30日時点
- 回収状況 配付数 230先(うち回収数215先) 回収率 93.5%
- 調査項目 (1)業況判断 (2)売上高・受注額 (3)採算水準 (4)資金繰り
(5)製品(商品)在庫 (6)設備投資 (7)経営上の問題点 (8)業況の回復時期
- 補足調査 製造業、小売業の「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期との比較
- 参考資料 有効求人倍率について
- 調査方法並びに注意事項
- ・アンケート項目毎の増加(上昇・好転等)企業割合と減少(低下・悪化等)企業割合の差による数値判断…D.I.(ディフュージョン・インデックス)
 - ・数値のほかグラフも掲載致しました。
 - ・比率に関しては小数点第2位を四捨五入しております。
 - ・建設業に関しては、「売上、受注」項目において「受注」として別掲扱いとしております。

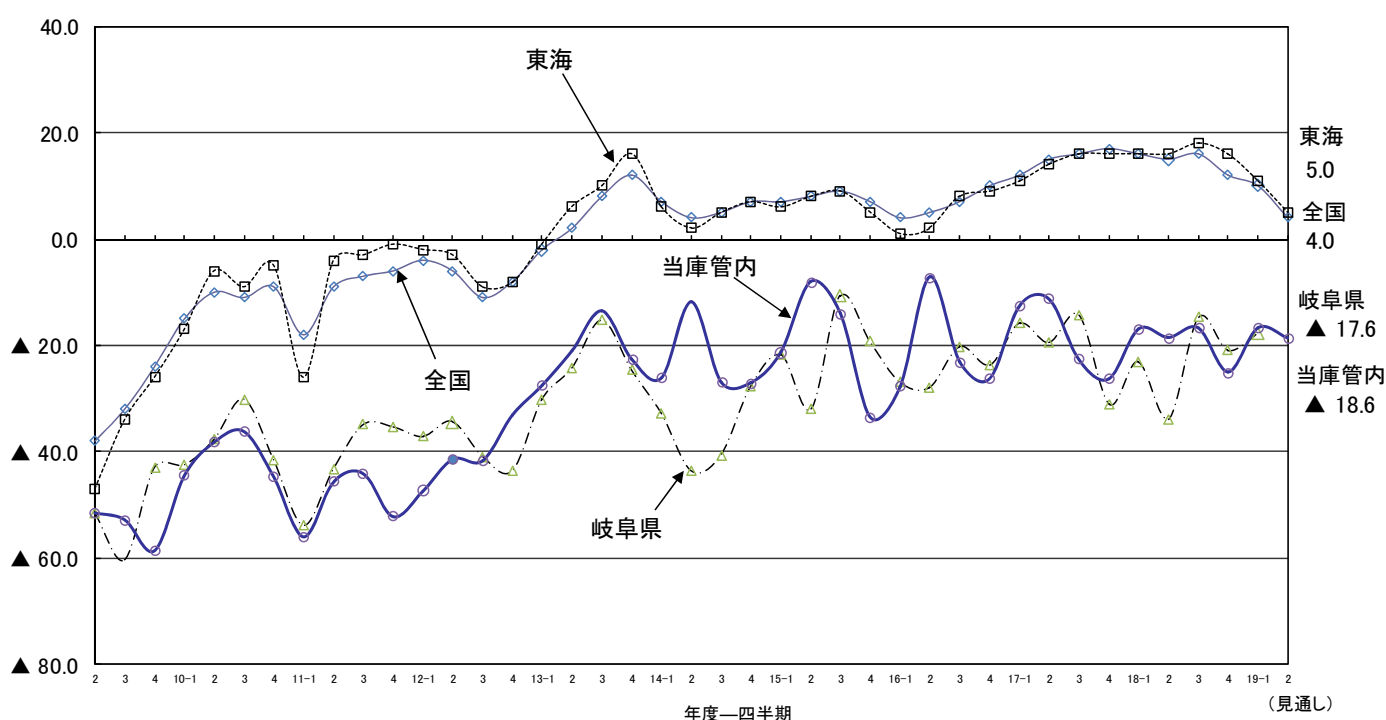
1. 業況判断

全業種の業況判断D.I. (良い-悪い) は、今期(2019年4月~6月期) ▲16.7と前期(2019年1月~3月期) ▲25.0に比べ8.3ポイント改善となりました。

業種別では飲食業、農業、建設業、サービス業で改善、小売業、製造業で横ばいも、不動産業、卸売業で悪化となりました。

来期(2019年7月~9月期)の業況判断見通しは、▲18.6と今期▲16.7に比べ、▲1.9ポイントの小幅な悪化予想となっています。業種別では小売業で改善、サービス業、卸売業、飲食業、不動産業、製造業で横ばいも、農業、建設業で悪化予想となっています。

業況判断D.I. (全業種)



(注)「全国」「東海」は日銀短観、「岐阜県」は株式会社日本政策金融公庫岐阜支店・多治見支店による。

業況判断

(%)

業種	2019年1月~3月(前期)				2019年4月~6月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	良い	良悪なし	悪い	D I	良い	良悪なし	悪い	D I	良い	良悪なし	悪い	D I
製造業	25.9	25.9	48.3	▲22.4	21.7	35.0	43.3	▲21.6	16.7	40.0	43.3	▲26.6
卸売業	33.3	33.3	33.3	0.0	26.7	40.0	33.3	▲6.6	26.7	40.0	33.3	▲6.6
小売業	13.6	23.7	62.7	▲49.1	8.2	37.7	54.1	▲45.9	8.2	45.9	45.9	▲37.7
飲食業	7.7	38.5	53.8	▲46.1	33.3	41.7	25.0	8.3	33.3	41.7	25.0	8.3
サービス業	16.7	45.8	37.5	▲20.8	24.0	40.0	36.0	▲12.0	20.0	52.0	28.0	▲8.0
建設業	30.3	48.5	21.2	9.1	39.4	51.5	9.1	30.3	30.3	51.5	18.2	12.1
不動産業	40.0	20.0	40.0	0.0	20.0	40.0	40.0	▲20.0	20.0	40.0	40.0	▲20.0
農業	0.0	40.0	60.0	▲60.0	0.0	75.0	25.0	▲25.0	0.0	50.0	50.0	▲50.0
全業種	21.2	32.5	46.2	▲25.0	21.4	40.5	38.1	▲16.7	18.1	45.1	36.7	▲18.6

2. 売上・受注

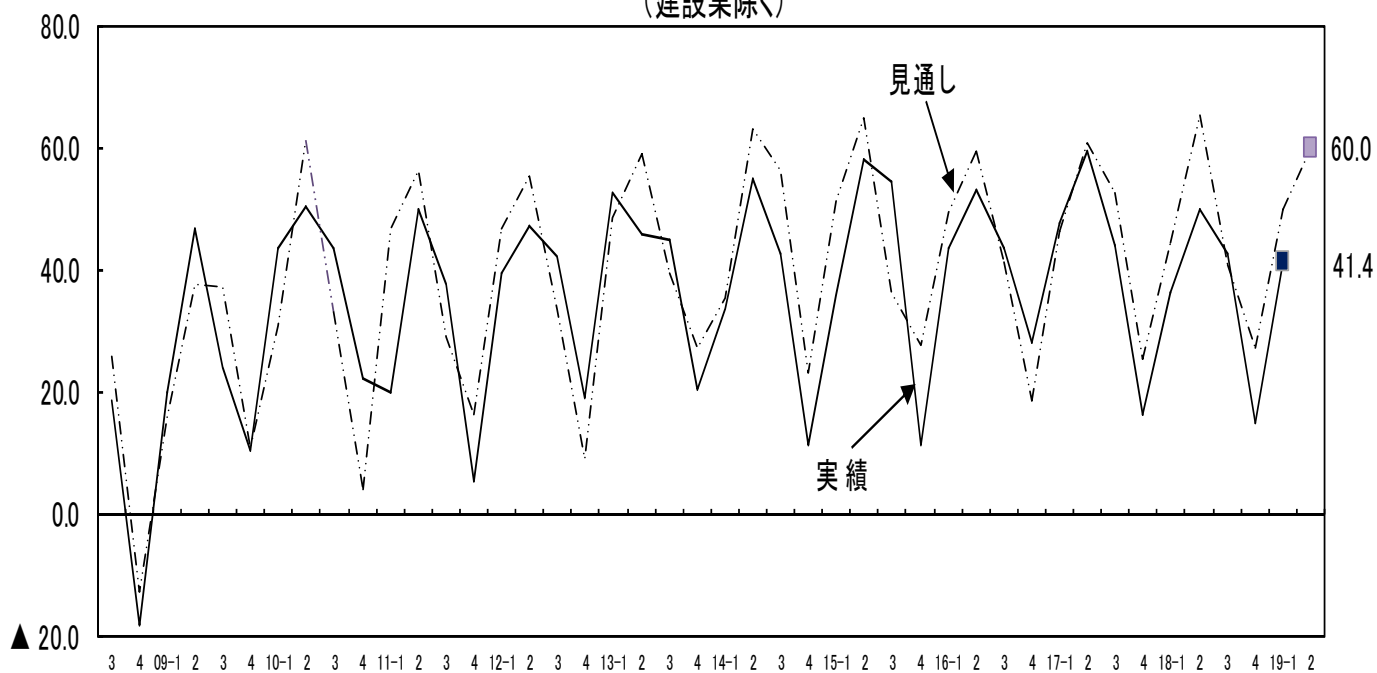
(1) 売上

建設業を除く売上額判断D. I. (増加-減少)は、今期41.4と前期15.0に比べ26.4ポイント改善となりました。業種別では、農業、小売業、製造業、サービス業、卸売業、飲食業は改善も、不動産業は悪化となりました。

来期の見通しは、卸売業、飲食業、製造業、小売業、サービス業は改善、不動産業は横ばいも、農業は悪化予想となっています。

全体での予想売上判断D. I.は60.0と今期に比べ18.6ポイント改善予想となっています。

売上DI
(建設業除く)



四半期

売上

(%)

業種	2019年1月～3月(前期)			2019年4月～6月(今期)			これから3ヵ月間の見通し		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
製造業	46.6	53.4	▲6.8	63.3	36.7	26.6	75.0	25.0	50.0
卸売業	60.0	40.0	20.0	66.7	33.3	33.4	86.7	13.3	73.4
小売業	39.0	61.0	▲22.0	59.0	41.0	18.0	70.5	29.5	41.0
飲食業	69.2	30.8	38.4	75.0	25.0	50.0	91.7	8.3	83.4
サービス業	62.5	37.5	25.0	76.0	24.0	52.0	84.0	16.0	68.0
不動産業	80.0	20.0	60.0	60.0	40.0	20.0	60.0	40.0	20.0
農業	40.0	60.0	▲20.0	100.0	0.0	100.0	75.0	25.0	50.0
全業種	57.5	42.5	15.0	70.7	29.3	41.4	80.0	20.0	60.0

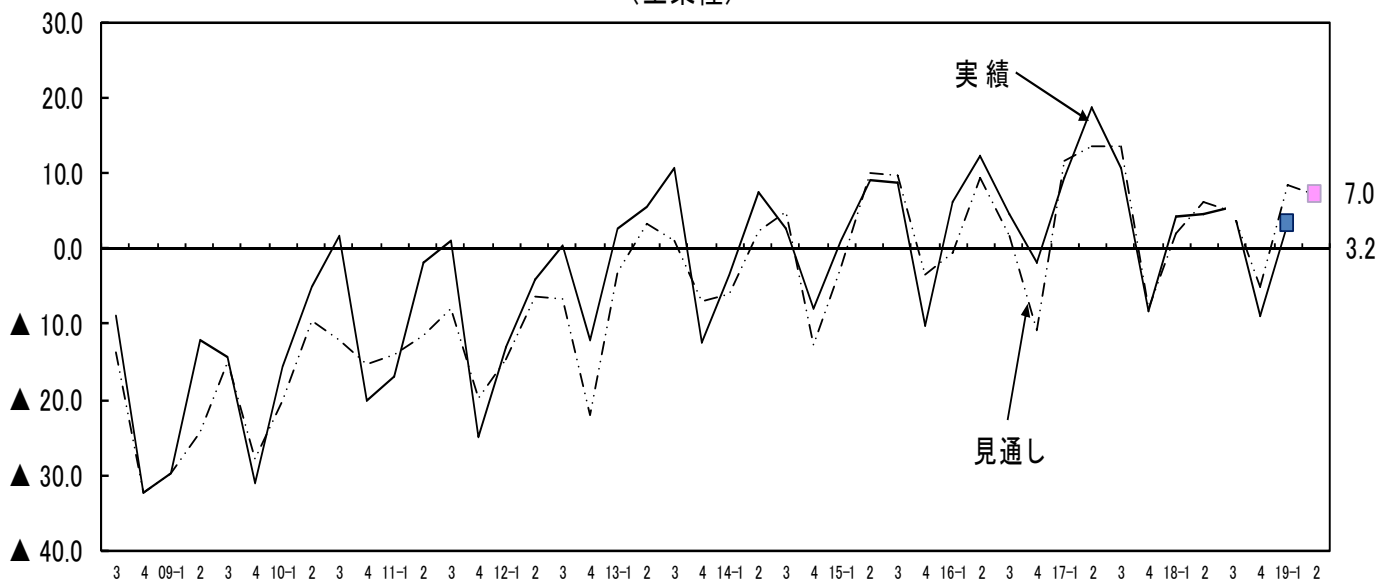
3. 採算水準

全業種の採算水準判断D. I. (黒字-赤字) は、今期3.2と前期▲8.9に比べ12.1ポイント改善となりました。業種別では建設業、小売業、飲食業、農業、製造業で改善、サービス業は横ばいも、不動産業、卸売業は悪化となりました。

来期の見通しは、サービス業、小売業で改善も、卸売業、飲食業、不動産業、農業、建設業、製造業は横ばい予想となっています。

全業種の予想採算水準判断D. I. は7.0で、今期に比べ3.8ポイント改善予想となっています。

採算水準DI
(全業種)



四半期

採算水準

(%)

業種	2019年1月～3月(前期)				2019年4月～6月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	黒字	収支トントン	赤字	D I	黒字	収支トントン	赤字	D I	黒字	収支トントン	赤字	D I
製造業	24.1	48.3	27.6	▲3.5	28.3	50.0	21.7	6.6	28.3	46.7	25.0	3.3
卸売業	26.7	53.3	20.0	6.7	20.0	60.0	20.0	0.0	13.3	73.3	13.3	0.0
小売業	16.9	45.8	37.3	▲20.4	19.7	57.4	23.0	▲3.3	24.6	55.7	19.7	4.9
飲食業	7.7	76.9	15.4	▲7.7	16.7	75.0	8.3	8.4	16.7	75.0	8.3	8.4
サービス業	25.0	37.5	37.5	▲12.5	12.0	68.0	20.0	▲8.0	32.0	52.0	16.0	16.0
建設業	18.2	63.6	18.2	0.0	39.4	48.5	12.1	27.3	27.3	69.7	3.0	24.3
不動産業	20.0	60.0	20.0	0.0	20.0	20.0	60.0	▲40.0	20.0	20.0	60.0	▲40.0
農業	20.0	20.0	60.0	▲40.0	0.0	75.0	25.0	▲25.0	25.0	25.0	50.0	▲25.0
全業種	20.3	50.5	29.2	▲8.9	23.7	55.8	20.5	3.2	25.6	55.8	18.6	7.0

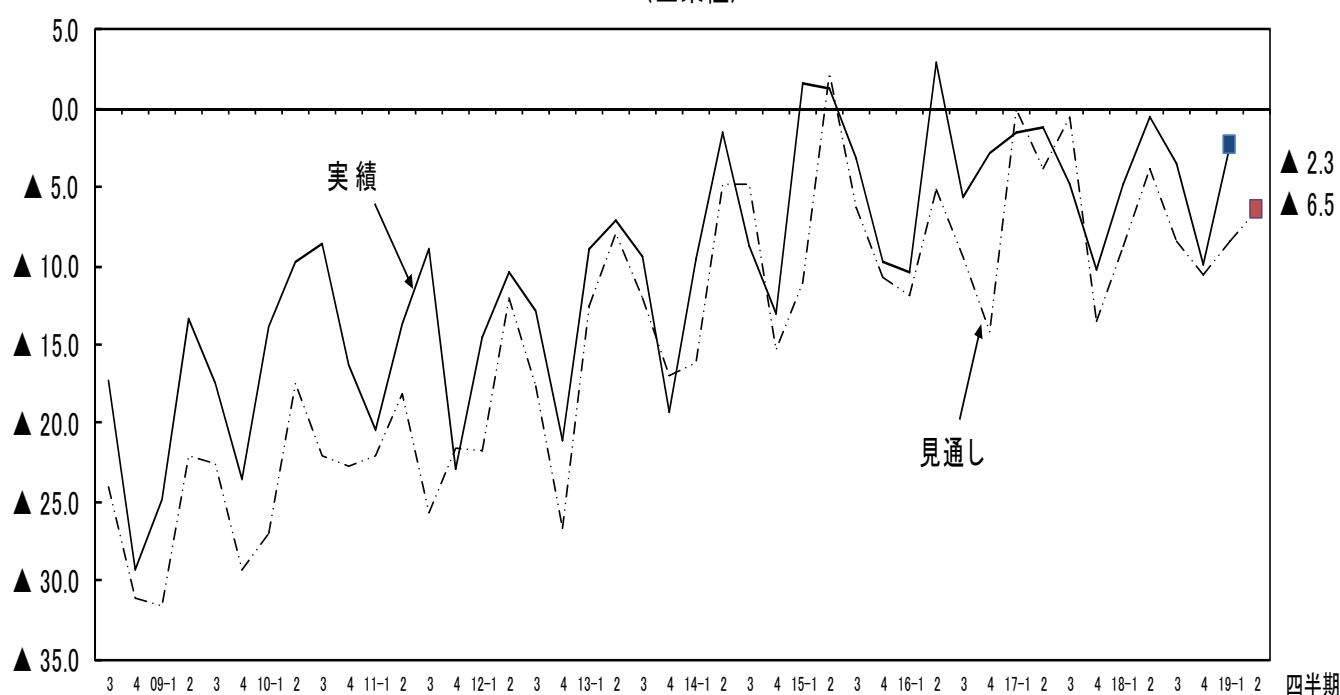
4. 資金繰り

全業種の資金繰り判断D. I. (好転-悪化)は、今期▲2.3と前期▲9.9に比べ7.6ポイント改善となりました。業種別では不動産業、農業、飲食業、小売業、製造業、卸売業は改善、建設業、サービス業は横ばいとなりました。

来期の見通しは、飲食業は改善、製造業、小売業、サービス業は横ばいも、農業、不動産業、卸売業、建設業で悪化予想となっています。

全業種の予想資金繰り判断D. I. は▲6.5と今期に比べ4.2ポイント悪化予想となっています。

資金繰りDI
(全業種)



資金繰り

(%)

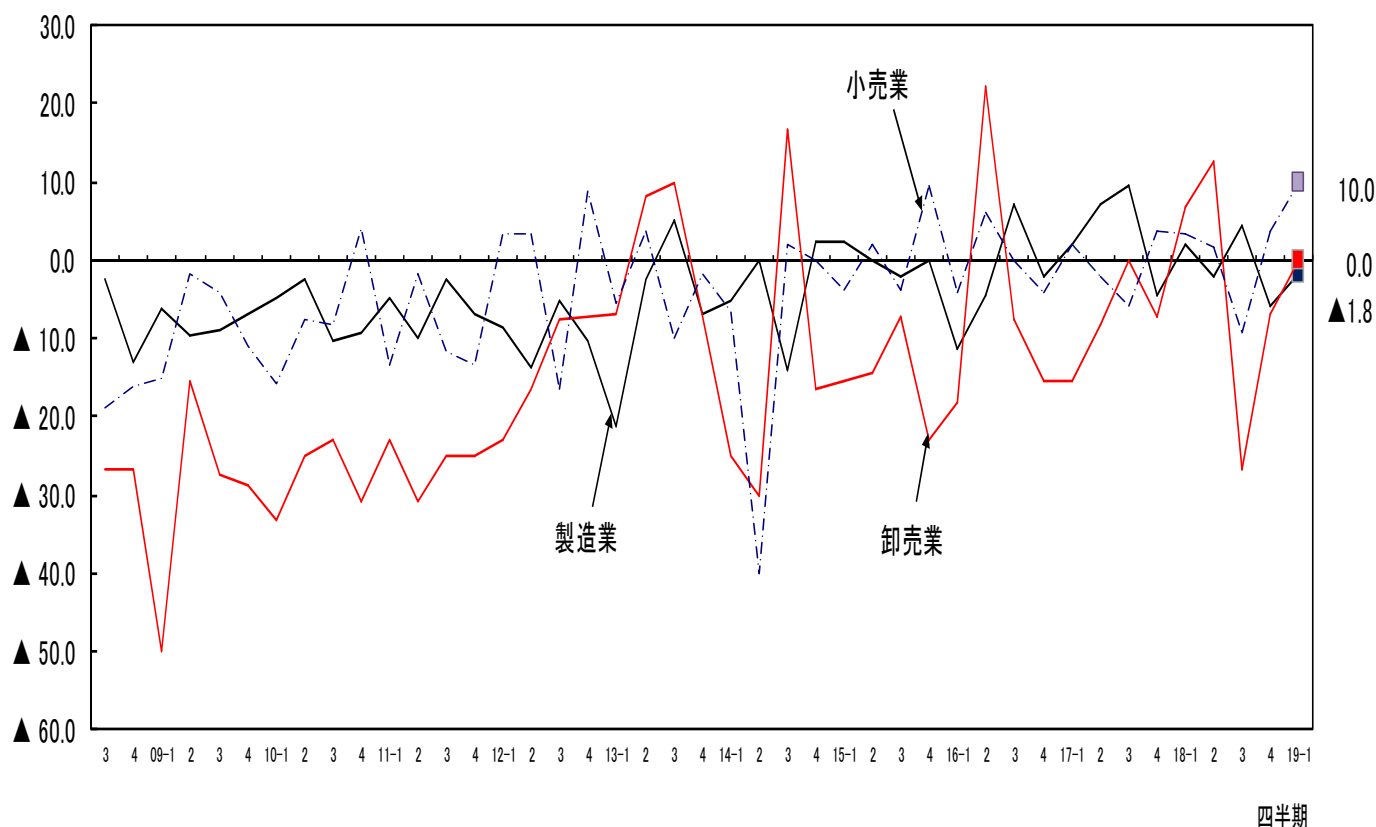
業種	2019年1月～3月(前期)				2019年4月～6月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	好転	不変	悪化	D I	好転	不変	悪化	D I	好転	不変	悪化	D I
製造業	17.2	60.3	22.4	▲5.2	13.3	75.0	11.7	1.6	13.3	71.7	15.0	▲1.7
卸売業	6.7	73.3	20.0	▲13.3	6.7	80.0	13.3	▲6.6	0.0	86.7	13.3	▲13.3
小売業	3.4	67.8	28.8	▲25.4	4.9	77.0	18.0	▲13.1	1.6	80.3	18.0	▲16.4
飲食業	0.0	69.2	30.8	▲30.8	8.3	66.7	25.0	▲16.7	16.7	58.3	25.0	▲8.3
サービス業	16.7	75.0	8.3	8.4	8.0	88.0	4.0	4.0	8.0	84.0	8.0	0.0
建設業	15.2	75.8	9.1	6.1	12.1	84.8	3.0	9.1	6.1	90.9	3.0	3.1
不動産業	0.0	100.0	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0	20.0	0.0	100.0	0.0	0.0
農業	0.0	80.0	20.0	▲20.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	▲25.0
全業種	10.4	69.3	20.3	▲9.9	9.3	79.1	11.6	▲2.3	7.0	79.5	13.5	▲6.5

5. 製品(商品)在庫

製品(商品)在庫判断D.I.(不足-過大)は、製造業で▲1.8と前期比4.1ポイント上昇、卸売業で0.0と前期比6.7ポイント上昇、小売業で10.0と前期比6.3ポイント上昇となりました。

製造業では過大感と不足感が減少し適正感が増加しました。また、卸売業では過大感が減少し適正感が増加しました。小売業では過大感が減少し不足感と適正感が増加しました。

製品(商品)在庫D I



製品(商品)在庫

(%)

業種	2019年1月～3月(前期)				2019年4月～6月(今期)			
	不足	適正	過大	D I	不足	適正	過大	D I
製造業	13.7	66.7	19.6	▲5.9	9.1	80.0	10.9	▲1.8
卸売業	20.0	53.3	26.7	▲6.7	20.0	60.0	20.0	0.0
小売業	16.4	70.9	12.7	3.7	18.3	73.3	8.3	10.0

6. 設備投資

設備投資は今期「行った」とする割合は34.4%と前期から7.0ポイント増加しました。

今期の投資目的としては「機械・設備の新・増設」と「車輛」が20件と最も多く、続いて「機械・設備の更改」が15件、「事業用土地・建物」と「事務機器」が9件の順となっています。

来期に設備投資を「行う」とする割合は22.3%と今期に比べ12.1ポイント減少しています。

設備投資

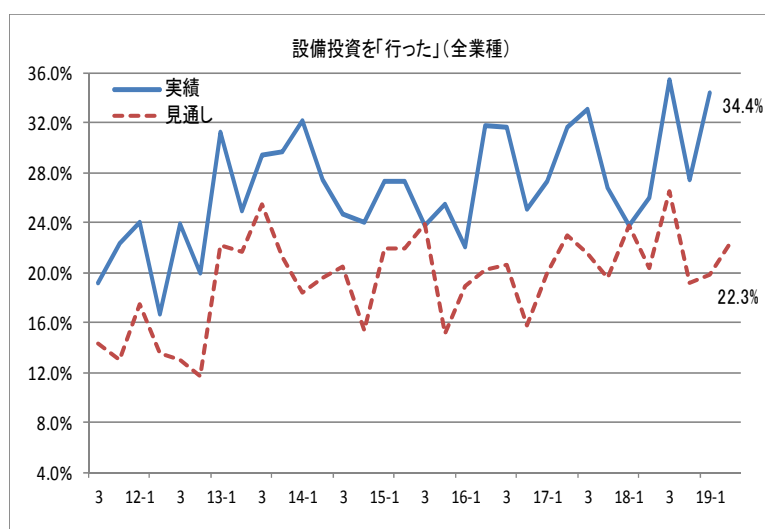
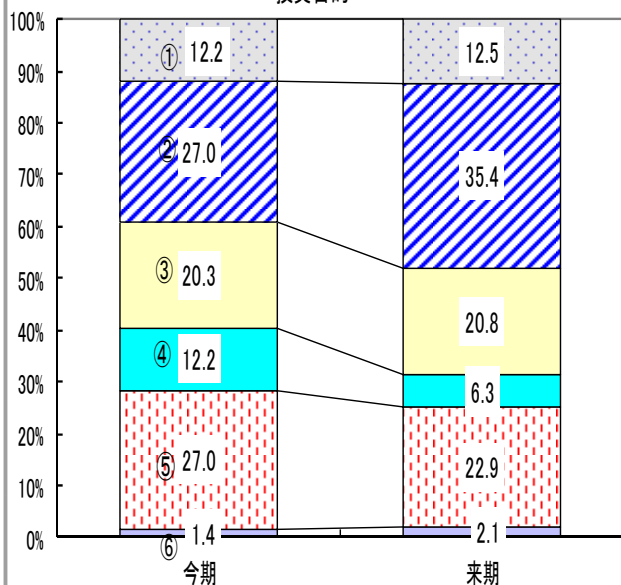
(%)

業種	2019年1月～3月(前期)		2019年4月～6月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	行った	行わなかった	行った	行わなかった	行う	行わない
製造業	32.8	67.2	33.3	66.7	23.3	76.7
卸売業	6.7	93.3	40.0	60.0	40.0	60.0
小売業	20.3	79.7	24.6	75.4	13.1	86.9
飲食業	30.8	69.2	33.3	66.7	16.7	83.3
サービス業	29.2	70.8	36.0	64.0	24.0	76.0
建設業	33.3	66.7	48.5	51.5	30.3	69.7
不動産業	20.0	80.0	40.0	60.0	0.0	100.0
農業	60.0	40.0	50.0	50.0	50.0	50.0
全業種	27.4	72.6	34.4	65.6	22.3	77.7

投資目的

区分	2019年4月～6月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	件数	割合	件数	割合
① 事業用土地・建物	9	12.2	6	12.5
② 機械・設備の新・増設	20	27.0	17	35.4
③ 機械・設備の更改	15	20.3	10	20.8
④ 事務機器	9	12.2	3	6.3
⑤ 車輛	20	27.0	11	22.9
⑥ その他	1	1.4	1	2.1
合計	74	100.0	48	100.0

投資目的



7. 経営上の問題点

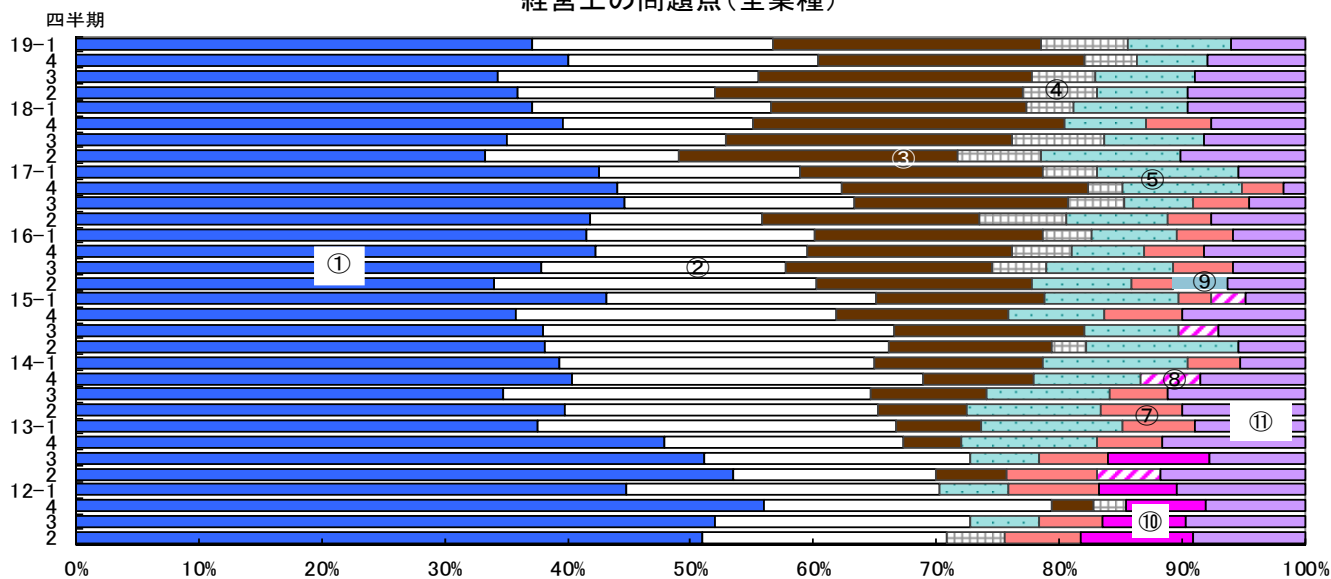
経営上の問題点として、「売上の停滞・減少」を指摘する回答割合が37.2%と最も多く、次に「人手不足」が21.9%、「利幅縮小」が19.5%、「特に問題なし」が8.4%、「設備老朽」が7.0%と続いています。

内容としては、1位の「売上の停滞・減少」は前期より2.9ポイント減少、2位の「人手不足」は前期より0.2ポイント増加、3位の「利幅縮小」は前期より0.8ポイント減少となっています。

経営上の問題点

業種	1位	2位	3位	4位	5位
製造業	売上減少 33.3	利幅縮小 20.0	人手不足 20.0	設備老朽 11.7	問題なし 6.7
卸売業	売上減少 53.3	利幅縮小 26.7	人手不足 13.3	問題なし 6.7	
小売業	売上減少 47.5	利幅縮小 21.3	人手不足 13.1	問題なし 6.6	設備老朽 4.9
飲食業	売上減少 41.7	人手不足 33.3	問題なし 16.7	利幅縮小 8.3	
サービス業	売上減少 28.0	利幅縮小 28.0	人手不足 24.0	設備老朽 16.0	問題なし 4.0
建設業	人手不足 39.4	売上減少 24.2	利幅縮小 15.2	問題なし 15.2	設備老朽 3.0
不動産業	事業承継 40.0	売上減少 20.0	人手不足 20.0	問題なし 20.0	
農業	売上減少 50.0	人手不足 25.0	事業承継 25.0		
全業種	売上減少 37.2	人手不足 21.9	利幅縮小 19.5	問題なし 8.4	設備老朽 7.0

経営上の問題点(全業種)



①売上停滞・減少	②利幅の縮小	③人手不足	④設備の狭小・老朽化
⑤特に問題なし	⑥工賃の値下要請	⑦販売競争激化	⑧販売価格不安定
⑨事業承継	⑩その他	⑪6位以下	

区分	15-4	16-1	2	3	4	17-1	2	3	4	18-1	2	3	4	19-1
売上の停滞・減少	42.2	41.6	41.8	44.6	44.0	42.6	33.3	35.1	39.7	37.2	36.0	34.3	40.1	37.2
利幅の縮小	17.3	18.5	14.1	18.6	18.3	16.4	15.8	17.8	15.5	19.3	16.0	21.2	20.3	19.5
人手不足	16.8	18.5	17.6	17.5	20.0	19.7	22.6	23.2	25.3	20.8	25.0	22.2	21.7	21.9
特に問題なし	5.9	6.9	8.2	5.6	9.7	11.5	11.3	8.1	6.7	9.2	7.5	8.1	5.7	8.4
販売価格の不安定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
設備の狭小・老朽化	4.9	-	7.1	4.5	-	4.4	6.8	7.6	-	3.9	6.0	5.1	4.2	7.0
販売競争激化	-	4.6	-	-	3.4	-	-	-	5.2	-	-	-	-	-
事業承継	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工賃の値下要請	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※「-」は6位以下を示しています。

8. 業況の回復時期

業況の回復時期は、「2020年4月～9月」が6.5%と最も多く、次いで、「すでに回復」が6.0%、「2019年7月～9月」が5.6%、「2020年1月～3月」が4.7%、「2019年10月～12月」が3.3%の順となっています。

また、「わからない」との回答が71.6%と大半を占め、依然として景気の先行き不透明感が強い結果となりました。

業況の回復時期

(先、%)

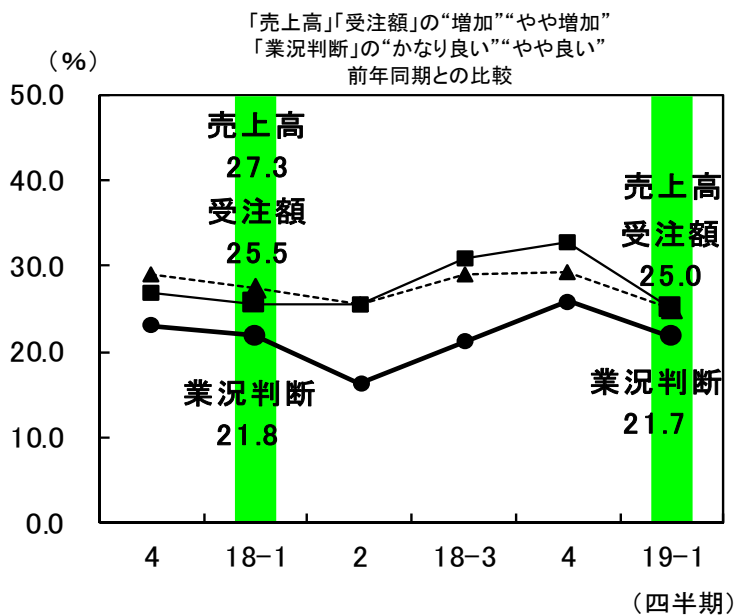
業種	回答企業数	すでに回復	2019年		2020年			わからない
			7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～9月	10月以降	
製造業	60	8.3	0.0	6.7	10.0	8.3	5.0	61.7
卸売業	15	6.7	0.0	6.7	6.7	6.7	6.7	66.7
小売業	61	3.3	6.6	0.0	3.3	6.6	0.0	80.3
飲食業	12	8.3	16.7	8.3	0.0	16.7	0.0	50.0
サービス業	25	4.0	12.0	0.0	0.0	4.0	0.0	80.0
建設業	33	9.1	6.1	3.0	3.0	3.0	3.0	72.7
不動産業	5	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0
農業	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全業種	215	6.0	5.6	3.3	4.7	6.5	2.3	71.6

補足調査

製造業、小売業について「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期(第1四半期)との比較調査を每期実施しております。

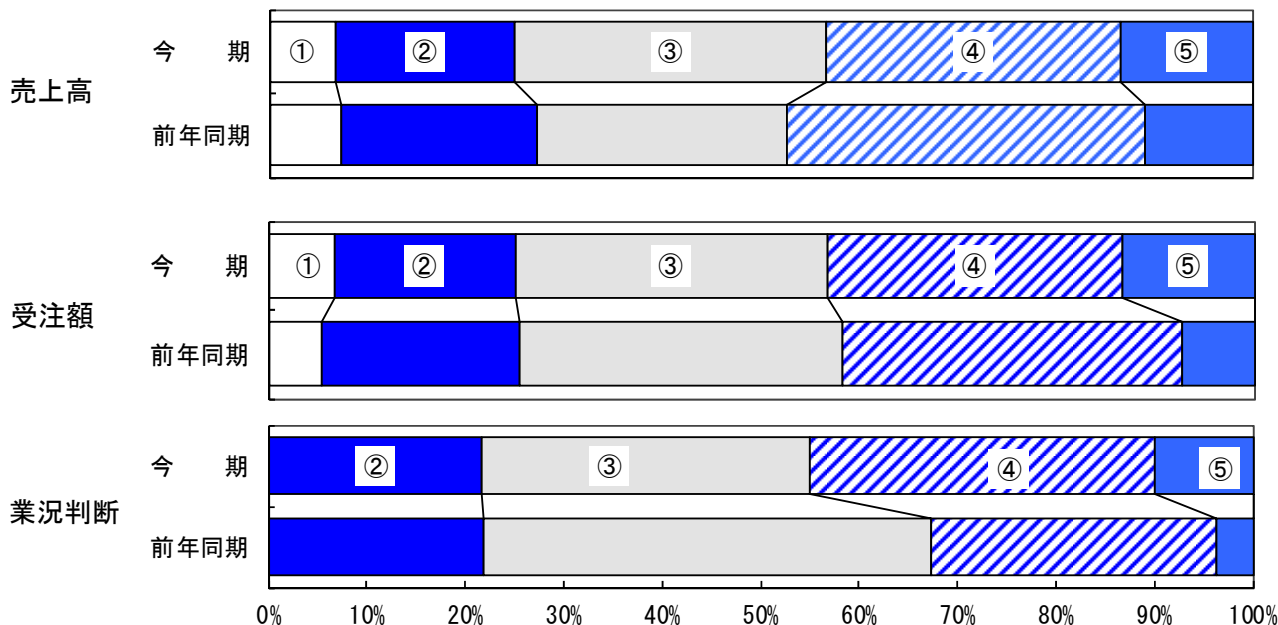
<製造業>

製造業の「売上高」では、前年同期(回答数55先)は“増加”“やや増加”の回答が27.3%だったのに対し、今期(回答数60先)は25.0%と2.3ポイント減少、「受注額」では同様25.5%だったのに対し、25.0%と0.5ポイント減少となっています。「業況判断」では前年同期は“かなり良い”“やや良い”が21.8%だったのに対して、今期は21.7%となり、前回から大きな変化はありませんでした。



(先、%)

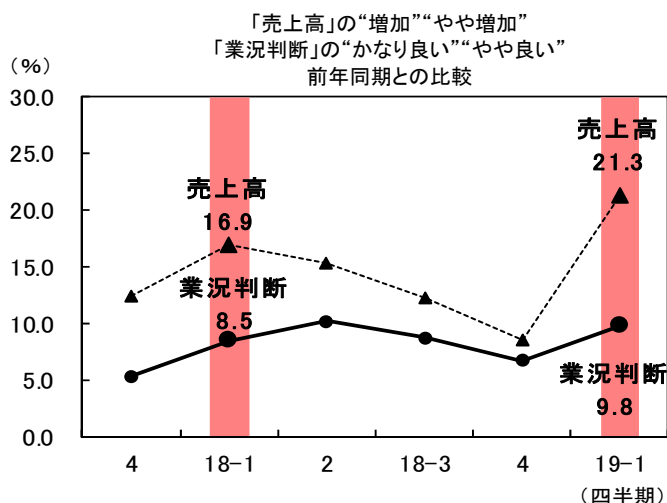
区分	売上高		受注額		区分	業況判断			
	2018年4月～6月	2019年4月～6月	2018年4月～6月	2019年4月～6月		2018年4月～6月	2019年4月～6月		
①増加	4	7.3	4	6.7	③良くも悪くもない	25	45.5	20	33.3
②やや増加	11	20.0	11	18.3	④やや悪い	16	29.1	21	35.0
③変わらず	14	25.5	18	31.7	⑤かなり悪い	2	3.6	6	10.0
④やや減少	20	36.4	19	34.5	合計	55	100.0	60	100.0
⑤減少	6	10.9	8	13.3					
合計	55	100.0	60	100.0					



＜小売業＞

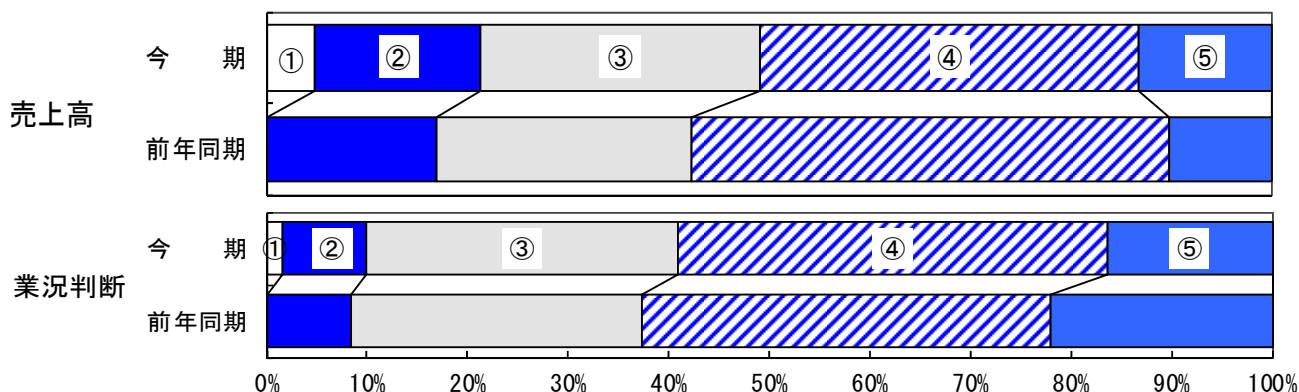
小売業の「売上高」では前年同期（回答数59先）は“増加”“やや増加”の割合が16.9%だったのに対し、今期（回答数61先）は21.3%と4.4ポイント増加となっています。

「業況判断」では前年同期は“かなり良い”“やや良い”の割合が8.5%だったのに対し、今期は9.8%と1.3ポイント改善しています。



(先、%)

区分	売上高				区分	業況判断			
	2018年4月～6月		2019年4月～6月			2018年4月～6月		2019年4月～6月	
① 増加	0	0.0	3	4.9	① かなり良い	0	0.0	1	1.6
② やや増加	10	16.9	10	16.4	② やや良い	5	8.5	5	8.2
③ 変わらず	15	25.4	17	27.9	③ 良くも悪くもない	17	28.8	19	31.1
④ やや減少	28	47.5	23	37.7	④ やや悪い	24	40.7	26	42.6
⑤ 減少	6	10.2	8	13.1	⑤ かなり悪い	13	22.0	10	16.4
合計	59	100.0	61	100.0	合計	59	100.0	61	100.0



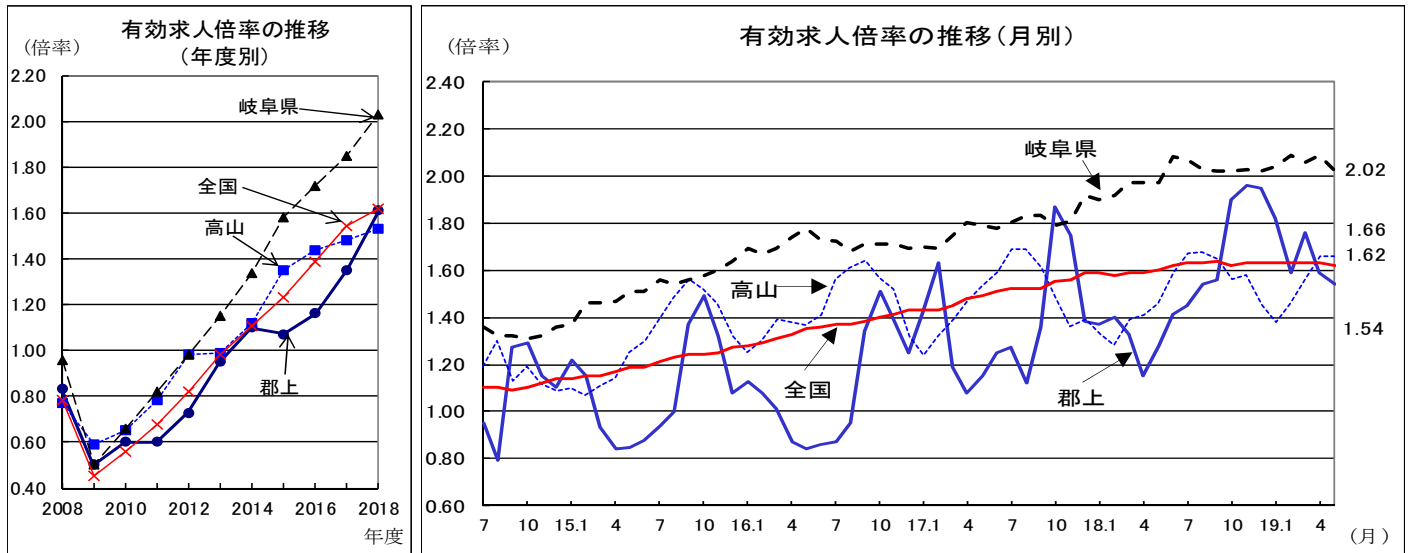
有効求人倍率について

関公共職業安定所岐阜八幡出張所(郡上市)、高山公共職業安定所のご協力を得て、有効求人倍率(学卒を除きパートを含む)を掲載いたしております。

岐阜八幡管内の2019年5月の有効求人倍率は、1.54倍で前月比0.05ポイント低下、前年同月比では0.26ポイント上昇となりました。また、新規求人数は、179人で前年同月比12人減少となりました。高山管内の2019年5月の同倍率は1.66倍で前月比同率、前年同月比で0.20ポイント上昇となりました。新規求人数は1,169人で前年同月比10人増加となりました。

また、全国および岐阜県の2019年5月の有効求人倍率は、全国は前月比0.01ポイント低下、前年同月比で0.02ポイント上昇の1.62倍、岐阜県は前月比で0.07ポイント低下、前年同月比で0.05ポイント上昇の2.02倍となりました。

有効求人倍率 = $\frac{\text{月間有効求人数}}{\text{月間有効求職者数}}$ (資料提供:関公共職業安定所岐阜八幡出張所、高山公共職業安定所)



年度別有効求人倍率

区分	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
郡上	0.83	0.50	0.60	0.59	0.73	0.95	1.10	1.07	1.16	1.35	1.61
高山	0.77	0.59	0.66	0.78	0.98	0.99	1.12	1.35	1.44	1.48	1.53
岐阜県	0.96	0.50	0.66	0.82	0.98	1.15	1.34	1.58	1.72	1.85	2.03
全国	0.78	0.45	0.56	0.68	0.82	0.98	1.11	1.23	1.39	1.54	1.62

有効求人倍率

区分	2017.4	5	6	7	8	9	10	11	12	2018.1	2	3
郡上	1.08	1.15	1.25	1.27	1.12	1.36	1.87	1.75	1.38	1.37	1.40	1.33
高山	1.47	1.53	1.59	1.69	1.69	1.61	1.48	1.36	1.39	1.33	1.28	1.39
岐阜県	1.80	1.79	1.78	1.80	1.83	1.83	1.79	1.81	1.92	1.90	1.92	1.97
全国	1.48	1.49	1.51	1.52	1.52	1.52	1.55	1.56	1.59	1.59	1.58	1.59

区分	2018.4	5	6	7	8	9	10	11	12	2019.1	2	3
郡上	1.15	1.28	1.41	1.45	1.54	1.56	1.90	1.96	1.95	1.82	1.59	1.76
高山	1.41	1.46	1.59	1.67	1.68	1.65	1.56	1.58	1.45	1.38	1.46	1.57
岐阜県	1.97	1.97	2.08	2.07	2.03	2.02	2.02	2.03	2.02	2.04	2.09	2.06
全国	1.59	1.60	1.62	1.63	1.63	1.64	1.62	1.63	1.63	1.63	1.63	1.63

区分	2019.4	5
郡上	1.59	1.54
高山	1.66	1.66
岐阜県	2.09	2.02
全国	1.63	1.62